図書館職員のスキルアップ法

小山　憲司
国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課コンテンツ企画係長

はじめに

１．スキルアップとは

1.1　スキルアップとは

・　「技能や能力を向上させること。」（『デイリー新語辞典』）
・　現在の自分に足りない何か、あるいは自分のもっているものより上位にある何かを獲得すること。
  - 基礎　⇔　応用
  - 既存　⇔　最新、先進

1.2　スキルアップの目標

・　「何か」を意識すること＝目標
  - 自分の中の尺度
  - 外にある尺度
    - 上司・同僚
    - 環境（大学、利用者、サービスほか）

・　逸村裕, 竹内比呂也編.『変わりゆく大学図書館』
  - 本書の趣旨：
    電子的な学術情報環境が進展するなか、「近年の新たなサービスや再検討すべきマネジメント機能をとりあげ、現状と展開可能性に焦点をあて」ている。
  - 構成：
    - 今日の大学図書館のあり方
    - 新しい機能とサービス
    - サービスを支えるマネジメント

２．スキルアップの方法

2.1　スキルアップの方法

下記、図を参照

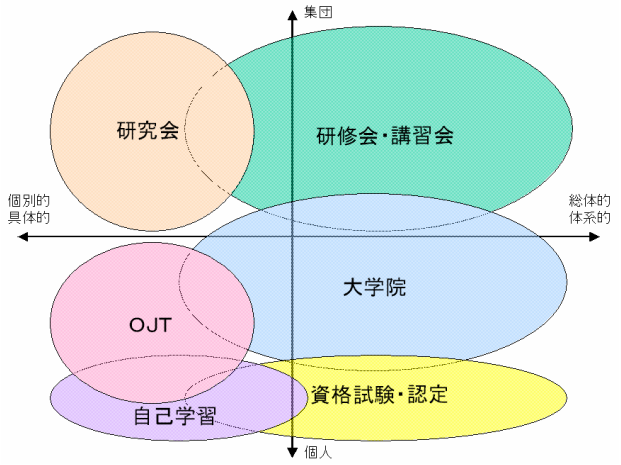

図. スキルアップの方法

2.2.　スキルアップ法の事例

(1)　研修会・講習会

・　学外研修：『図書館年鑑』の「各地の研究集会」などを参照

- ➢ NII による教育研修事業　http://www.nii.ac.jp/hrd/
  - ✧ 学術ポータル研修
  - ✧ 総合目録データベース研修　ほか
- ➢ 史・資料関係の研修
  - ✧ 漢籍講習会
    - ＊ 東京大学東洋文化研究所
      http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/news/news060623.html
    - ＊ 京都大学人文科学研究所
      http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/courses/
  - ✧ 西洋社会科学古典資料講習会（一橋大学社会科学古典資料センター）
    http://www.lib.hit-u.ac.jp/CHSSL/kousyu/kousyu.html
- ➢ 各種団体の研修
  - ✧ 近畿イニシアの初任者研修
    http://wwwsoc.nii.ac.jp/initia/training/
  - ✧ デジタル・ライブラリアン講習会（デジタル・ライブラリアン研究会）
    http://www.kinokuniya.co.jp/03f/es/dl_index.htm
  - ✧ 情報科学技術協会の研修事業
    http://www.infosta.or.jp/　→　研修会・セミナー

・　学内研修

- ➢ 中堅職員研修
- ➢ 会計研修　など

・ 館内研修

- ➢ 東京大学附属図書館研修プログラム
  http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/utlsd/project/project.html

(2) 研究会

・ 学内、館内

- ➢ 九州大学の事例（九州大学附属図書館ラテン語古刊本書誌作成研修会）

・ 各種図書館団体

- ➢ 私立大学図書館協会東地区部会研究部の活動（分類研究分科会）
  http://www.jaspul.org/e-kenkyu/
- ➢ 日本図書館研究会の各種研究グループ
  http://wwwsoc.nii.ac.jp/nal/groups/index.html

・ その他

- ➢ 情報科学技術協会の OUG、SIG（分類／シソーラス／indexing 部会）
  http://www.infosta.or.jp/ → 委員会・研究会活動
- ➢ TP&D フォーラム（整理技術・情報管理等研究集会）
  http://tpd.eplang.jp/

(3) 大学院

・ 社会人入学の可能な大学院

- ➢ 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科
  http://www.slis.tsukuba.ac.jp/grad/
  asahi.com の紹介記事
  http://www.asahi.com/ad/clients/daigakuin2005/school/tsukuba_tosho.html
- ➢ 慶應義塾大学大学院文学研究科図書館・情報学専攻情報資源管理分野
  http://www.slis.keio.ac.jp/news031008.html

(4) 資格試験・認定

- ➢ ヘルスサイエンス情報専門員（日本医学図書館協会）
  http://wwwsoc.nii.ac.jp/jmla/nintei/
- ➢ 情報検索能力試験（1 級、2 級、基礎）（情報科学技術協会）
  http://www.infosta.or.jp/ → 情報検索能力試験

(5) OJT

・ 実務の中での知識・技術の獲得

・ ワーキンググループなどの活動

(6)　自己学習

(7)　その他

・　各種集会、研究大会、シンポジウムへの参加
・　語学研修
・　海外研修、留学

３．まとめ

「情報専門職としての大学図書館員」というグランドデザインの中で、

・　個人が目指すもの
　➢　自らのキャリアデザイン
・　組織が目指すもの
　➢　図書館の位置づけ
　➢　職員のキャリアデザイン、キャリアパスの明確化
・　大学図書館界（図書館界、図書館情報学界）が目指すもの
　➢　大学図書館の位置づけ
　➢　情報専門職の位置づけ
　➢　研修・教育体制の充実

参考文献

1) 逸村裕, 竹内比呂也編. 変わりゆく大学図書館. 勁草書房, 2005.
2) “情報専門職の養成に向けた図書館情報学教育体制の再構築に関する総合的研究（LIPER）”. (オンライン), 入手先< http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/liper/>, (参照 2006-10-03)
3) 川崎良孝編著. 技量の継続的向上を求めて ： 図書館員の研修に関する国際動向. 京都大学図書館情報学研究会, 2004. （KSP シリーズ, 1）
4) 三田図書館・情報学会編. 図書館・情報学研究入門. 勁草書房, 2005.
5) 長坂みどり. 国立大学の法人化と図書館職員. 情報の科学と技術. Vol.55, no.12, 2005, p.534-540.
6) 根本彰ほか編集. 図書館情報学の地平 ：50 のキーワード. 日本図書館協会, 2005.
7) 鈴木正紀. 大学図書館員の継続教育（研究文献レビュー）. カレントアウェアネス. No.288, 2006. (オンライン), 入手先<http:// www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/ca/item.php ?itemid=1032 >
8) 特集・人材育成. 情報の科学と技術. Vol.53, no.3, 2003, p.121-151.
9) 特集・Infopro ならこれを読んでおこう. 情報の科学と技術. Vol.56, no.8, 2006, p.343-377.
10) 特集・価値観の交差点. 情報の科学と技術. Vol.56, no.9, 2006, p.391-421.